

環境フットプリント原単位データベース (ver.1)の公開について

東京都市大学伊坪徳宏研究室

2013年6月4日

趣旨

東京都市大学伊坪研究室では、環境フットプリントを計算するためのインベントリデータベースを開発しました。約400部門を網羅した本データベースを用いることで、環境フットプリントやLCA(ライフサイクルアセスメント)をより容易に実施することを可能にします。

データベースの概要

木材種類

1

部門数

403

データの種類

木材消費原単位

木材消費の総量を指します。たとえば、米を生産するときに使用される木材(直接使用)と米の生産に投入されるエネルギーなどを生産する際に使用される木材(間接使用)の和に相当します。

直接土地占有面積

各産業部門で直接使用される木材を各産業部門の国内生産額で除した値を指します。

データベースの作成方法

産業連関分析法を用います。同分析を利用することで、対象製品を生産するまでに使用される木材量を算定することができます。つまり、生産のほか、生産に利用される際に投入される材料やエネルギー等を生産するまでに使用される木材も含めています。計算は「 $(I-A)^{-1}$ 」であるため、海外生産分は国内で生産したものと同一として仮定しております。

単位

金額(生産者価格)あたりで体積(m³/百万円)

免責事項

- 1 本原単位の利用に関して利用者又は第三者に生じた損害については、事由の如何を問わず、利用者がその全ての責任を負うものとします。
- 2 本原単位をダウンロードする際に、通信回線のトラブル等、利用者には何らかの障害が生じても、開発者及びセンターは一切の責任を負わないものとします。

以上